

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 21 日 (2019.11.21)

【公開番号】特開 2019-79097 (P2019-79097A)

【公開日】令和 1 年 5 月 23 日 (2019.5.23)

【年通号数】公開・登録公報 2019-019

【出願番号】特願 2017-203204 (P2017-203204)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/01 (2006.01)

G 0 6 F 3/16 (2006.01)

B 6 0 R 16/02 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/01 5 7 0

G 0 6 F 3/01 5 1 0

G 0 6 F 3/01 5 6 0

G 0 6 F 3/16 6 5 0

B 6 0 R 16/02 6 3 0 Z

B 6 0 R 16/02 6 5 5 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 9 日 (2019.10.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

操作者のジェスチャ操作に基づいて、操作対象 (1 1 1、1 1 2、1 1 3) に対する入力操作が行われるジェスチャ入力装置において、

前記操作者の前記ジェスチャ操作を検出するジェスチャ検出部 (1 2 0) と、

前記ジェスチャ操作から前記操作対象を判定する判定部 (1 3 0) と、を備え、

前記判定部は、前記ジェスチャ検出部によって検出された前記ジェスチャ操作が、前記操作者の手によって指し示される手差しジェスチャであると判定すると、指し示された対象を前記操作対象として選択確定するようになっており、

前記操作対象は、複数設けられており、複数の前記操作対象 (1 1 1、1 1 2、1 1 3) の作動状態をそれぞれ表示する複数の表示部 (1 1 1 a、1 1 2 a、1 1 3 a) を有しており、

前記判定部からの判定内容に応じて、複数の前記表示部の表示状態を制御する制御部 (1 4 0) を備え、

前記判定部によって、複数の前記表示部のうち、任意の表示部 (1 1 1 a) に対する前記手差しジェスチャが判定され、選択確定されたのち、前記任意の表示部とは異なる別の表示部 (1 1 2 a) に対する別の手差しジェスチャが判定されると、

前記制御部は、前記任意の表示部における表示を、前記別の表示部に表示させるジェスチャ入力装置。

【請求項 2】

操作者のジェスチャ操作に基づいて、操作対象 (1 1 1、1 1 2、1 1 3) に対する入力操作が行われるジェスチャ入力装置において、

前記操作者の前記ジェスチャ操作を検出するジェスチャ検出部 (1 2 0) と、

前記ジェスチャ操作から前記操作対象を判定する判定部（１３０）と、を備え、

前記判定部は、前記ジェスチャ検出部によって検出された前記ジェスチャ操作が、前記操作者の手によって指し示される手差しジェスチャであると判定すると、指し示された対象を前記操作対象として選択確定するようになっており、

前記操作対象は、複数設けられており、前記操作対象（１１１、１１２、１１３）の作動状態を表示する表示部（１１１ａ）を有しており、

前記判定部からの判定内容に応じて、前記表示部の表示状態を制御する制御部（１４０）を備え、

前記判定部によって、前記表示部に対する前記手差しジェスチャが判定され、選択確定されたのち、前記手差しジェスチャとは異なる別のジェスチャが判定されると、

前記制御部は、複数の前記操作対象のうち、前記表示部における元の操作対象の表示を、別の操作対象の表示に切替えるジェスチャ入力装置。

【請求項３】

前記制御部によって、前記表示部における表示が切替えられた後に、前記判定部によって、予め定められたデフォルト用のジェスチャが判定されると、前記制御部は、所定時間、予め定めたデフォルト表示を行う請求項２に記載のジェスチャ入力装置。

【請求項４】

前記操作者の声を検出して、検出した前記声を前記判定部に出力する声検出部（１５０）を備え、

前記判定部は、前記ジェスチャ操作の条件に、前記声検出部からの前記声の条件を加えて、前記選択確定、および前記制御部に対する表示の変更指示を行う請求項１～請求項３のいずれか１つに記載のジェスチャ入力装置。

【請求項５】

前記手差しジェスチャは、手の指による指差しジェスチャである請求項１～請求項４のいずれか１つに記載のジェスチャ入力装置。

【請求項６】

前記操作対象の選択確定を前記操作者に対してフィードバックするフィードバック部を備え、

前記判定部は、選択確定を行うと前記フィードバック部を作動させる請求項１～請求項５のいずれか１つに記載のジェスチャ入力装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

第１の発明では、操作者のジェスチャ操作に基づいて、操作対象（１１１、１１２、１１３）に対する入力操作が行われるジェスチャ入力装置において、

操作者のジェスチャ操作を検出するジェスチャ検出部（１２０）と、

ジェスチャ操作から操作対象を判定する判定部（１３０）と、を備え、

判定部は、ジェスチャ検出部によって検出されたジェスチャ操作が、操作者の手によって指し示される手差しジェスチャであると判定すると、指し示された対象を操作対象として選択確定するようになっており、

操作対象は、複数設けられており、複数の操作対象（１１１、１１２、１１３）の作動状態をそれぞれ表示する複数の表示部（１１１ａ、１１２ａ、１１３ａ）を有しており、

判定部からの判定内容に応じて、複数の表示部の表示状態を制御する制御部（１４０）を備え、

判定部によって、複数の表示部のうち、任意の表示部（１１１ａ）に対する手差しジェスチャが判定され、選択確定されたのち、任意の表示部とは異なる別の表示部（１１２ａ）に対する別の手差しジェスチャが判定されると、

制御部は、任意の表示部における表示を、別の表示部に表示させることを特徴としている。

また、第２の発明では、操作対象は、複数設けられており、操作対象（１１１、１１２、１１３）の作動状態を表示する表示部（１１１a）を有しており、

判定部からの判定内容に応じて、表示部の表示状態を制御する制御部（１４０）を備え、

判定部によって、表示部に対する手差しジェスチャが判定され、選択確定されたのち、手差しジェスチャとは異なる別のジェスチャが判定されると、

制御部は、複数の操作対象のうち、表示部における元の操作対象の表示を、別の操作対象の表示に切替えることを特徴としている。